

特113

889

9 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10¹⁹/_m 1 2 3 4 5

始



43/13
889



志

賀

内之部卷之七ノ一

	ツレ	ワキ	後シテ	ツレ	シテ	後
	同從者	臣下	大主の伴	男	樵	別
	赤大臣二人	高砂同断	黒靈		翁	装
			〔面〕邯鄲男 襟 黒垂 透冠 着附厚板 白大口 袴狩衣	〔面〕小尉 襟 耐髪 着附小格子 白大口 水衣 腰帶 扇 負柴(櫻枝つける) 又着流しにて	襟 着附無地熨斗目 白大口 水衣 腰帶 扇 又着流しにて	東 附
能	協	類別	近江國志賀山			所
月	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> 大正 5 4 7 内交 </div>				季	

志賀一

解説

ワキ、同ツレ二人次第にて出で舞臺に入り向き合ひ、
ワキ次郎 『道ある御代の花見月』 とハツキリ謡ふべし。

名宣、道行すべて同断、着セリフ濟み三人ワキ坐に行き下に居る。
眞ノ一聲にてツレ、シテと出で橋懸にて向き合ひ。

眞ノ一聲 『さゞ波や、志賀の都の名をとめし』 と謡ふ。位あり、二ノ句濟み二人共舞臺に入り、ツレ中に立ち、シテは常坐にて、

ワキ次郎 『山路に日暮れぬ樵歌牧笛の聲』 と、納めて謡ふ。『人間萬事様々の』 と又向き

合ひ、調子に心づけて連吟し、上歌の留メにて入れ替り、シテ中に行き、ツレ脇正面に立つ。

ワキ次郎 『ふしぎやな是成山賤を見れば』 茲はシテへかゝり謡ふべし。此懸合宜しくありて、

ワキ次郎 『身にも應ぜぬ事なれど』 と、地もかゝり謡ふ。此處にてツレは地の前に行き下に居る。

ワキ次郎 『それかしかつし時代を尋ぬるに』 クリ地は打掛を聞き謡ふべし。此處にてシテ中へ出

で杖を下に置き、負柴取り、扇持つ。サシ、クセ、ロンギ別に變る事なし。

ワキ次郎 『花の蔭に永やすみしつるはづかしや』 と、此處にてシテ、扇さし、杖持ちて立ち右へ廻

り、常坐にて正へ開き、中入、ツレも入る。夫より間語り懸合ありて待謡。

ワキ次郎 『いざげふは春の山邊に交りなん』 とハツキリ謡ふべし。

後シテ、出羽にて出で橋懸にて開き、

後九シテ 『雪ならは後度袖を拂はまし』 と謡ふ。

地十表 『年経ぬる身は老がみの』 此地にて舞臺へ入る。

地十表 『かたじけなしや、神樂の舞』 の後、神舞。舞の留メ謡頭にてくつるぐ、

地十表 『ふしぎなりつる山賤の』 と、地はハツキリ謡ふ、以下シテに形種々あり、見計ひ謡ふべし。

あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風

あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風
あはれなる都の春の風

いばむきよのちきりし色はあはれ
まふらむさるる成るを
握むれりきれぬるちかむる
様いやは^{ヤラ}柁^サ縁^サは^サ律^サは^サ書^サの
の^サ漢^サの^サ一^サの^サ女^サの^サあ^サい^サの^サい^サ
う^サ思^サの^サあ^サら^サの^サが^サ縁^サの^サあ^サら^サの^サあ^サら^サの^サあ^サら^サ

色はあはれまふらむさるる成るを
握むれりきれぬるちかむる
様いやは^{ヤラ}柁^サ縁^サは^サ律^サは^サ書^サの
の^サ漢^サの^サ一^サの^サ女^サの^サあ^サい^サの^サい^サ
う^サ思^サの^サあ^サら^サの^サが^サ縁^サの^サあ^サら^サの^サあ^サら^サの^サあ^サら^サ
乃神も守道し
相のあはれも感有るれぬらば
志
ヤラハ
七

本令に萬民時をたのむに都
都内諸の事々々四海の
外を信じて事々乃總なる
長國をこころに
いふに事々々々々々々々
いふに事々々々々々々々

行也 雲治の西北の風聲の
たかき一もの事々々々々々
山松の事々々々々々々々
吾れ福の事々々々々々々
一思の事々々々々々々々
いふに事々々々々々々々

本

あまのたはげしき月よほしとある
乃る時わつらふとわつらふ
わづらふとわづらふとわづらふ
あまのたはげしき月よほしとある
乃る時わつらふとわつらふ
わづらふとわづらふとわづらふ
あまのたはげしき月よほしとある
乃る時わつらふとわつらふ
わづらふとわづらふとわづらふ

乃志賀幸崎のまう風まぐさ
ふもあまのたはげしき月よほしとある
乃る時わつらふとわつらふ
わづらふとわづらふとわづらふ
あまのたはげしき月よほしとある
乃る時わつらふとわつらふ
わづらふとわづらふとわづらふ
あまのたはげしき月よほしとある
乃る時わつらふとわつらふ
わづらふとわづらふとわづらふ



著作權所有

大正

五年

四月

四日印刷
九日發行

東京市深川区西平野町一番地

著作者 寶生九郎

東京市日本橋區通四丁目八番地

發行者 江島伊兵衛

東京市日本橋區通四丁目八番地

發行所 椀屋謠曲書肆

東京市神田區皆川町二番地

印刷者 田村茂太郎



おぼろげな夢の中を歩くと
くもりあふる静謐のうらみ
梅子もさくらも神もさき
おぼろげな夢の中を歩くと

終

